



体験活動の重要性とコロナ禍での支援の広がり

子どもたち「ひとりひとり」を大切にするために
大人が手を取り合う仕組みの紹介

Presented By

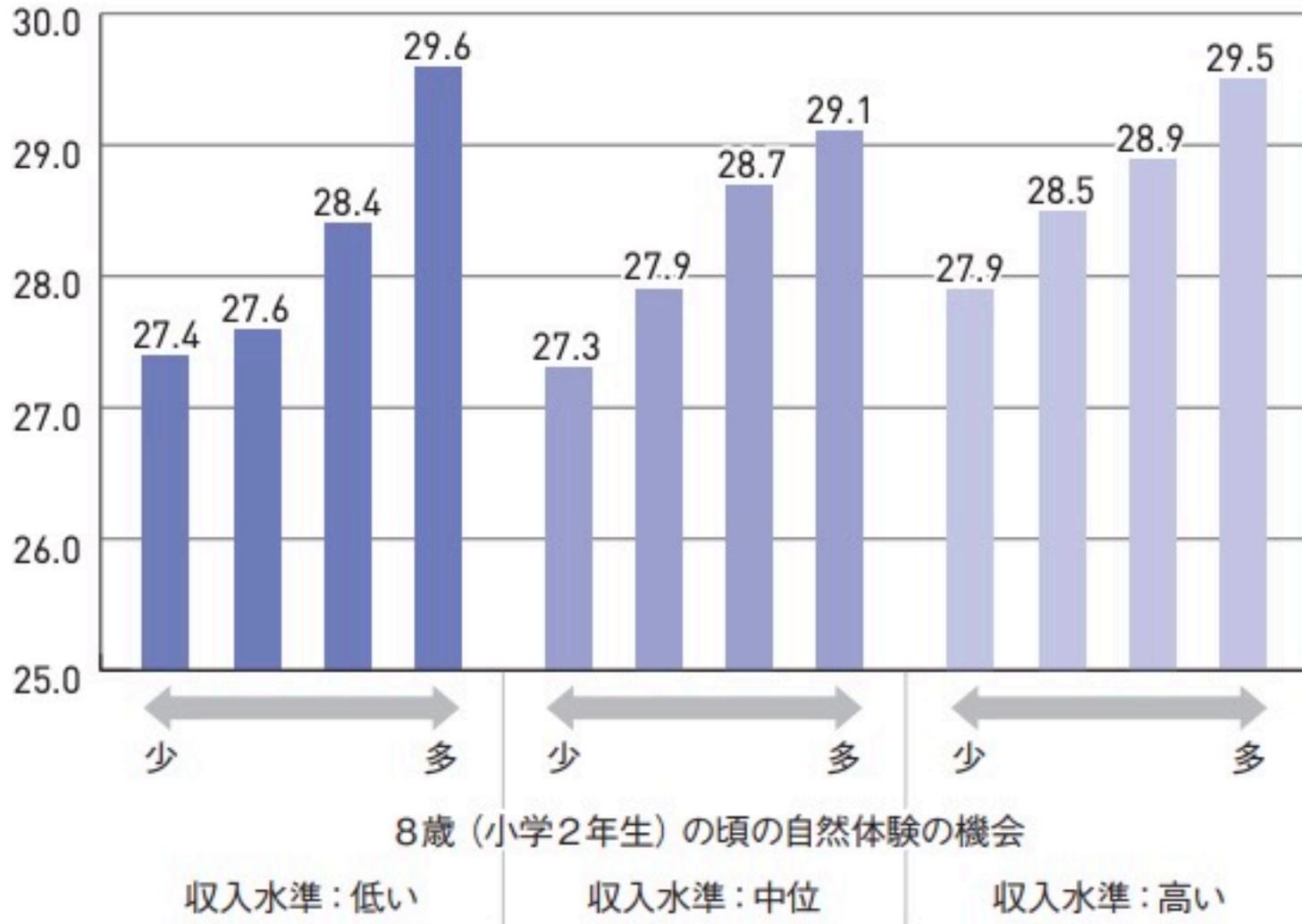


NPO法人チャリティーサンタ
Charity Santa





17歳(高校2年生)の「自尊感情」の得点



<出典> 令和2年度青少年の体験活動に関する調査研究結果報告より抜粋

体験や子どもの思い出に対してのニーズ



おかやま親子応援
メールで
現在
家庭に情報を
届けている

5. 必要な支援(複数選択可)

2021年1月<回答者数:571人>

	食料や生活品などの生活支援	子どもの体験(遊び、運動、習い事など)支援	子どもの学習支援	住居手配、家賃補助	就業の支援、相談	子育て相談	託児・一時預かり	仲間づくり	その他	特になし
	342	255	193	161	132	85	81	72	40	2
回答者数における選択者の割合	59.9%	44.7%	33.8%	28.2%	23.1%	14.9%	14.2%	12.6%	7.0%	4.2%



2020年7月<回答者数:1513人>

	食料や生活品などの生活支援	子どもの体験(遊び、運動、習い事など)支援	子どもの学習支援	住居手配、家賃補助	就業の支援、相談	子育て相談	託児・一時預かり	仲間づくり	その他	特になし
	789	601	681	413	267	204	182	145	121	137
回答者数における選択者の割合	52.1%	39.7%	45.0%	27.3%	17.6%	13.5%	12.0%	9.6%	8.0%	9.1%

おかやま親子応援メール半年後アンケートから (2021年1月実施)

小さな子どもを持つ家庭の「体験ニーズ」の高さ



2. 必要な支援(複数選択可)

【就学前:0歳から5歳の子どもだけがいる家庭:78世帯】

	就業の支援、相談	子育て相談	子どもの学習支援	子どもの体験(遊び、運動、習い事など)支援	食料や生活品などの生活支援	託児・一時預かり	住居手配、家賃補助	仲間づくり	その他	特になし
	11	19	9	46	37	23	21	20	4	5
回答者数における選択者の割合	14.1%	24.4%	11.5%	59.0%	47.4%	29.5%	26.9%	25.6%	5.1%	6.4%

おかやま親子応援メール半年後アンケートから (2021年1月実施)

小さな子どもを持つ家庭の「体験ニーズ」の高さ



【小学生：6歳から12歳の子どもだけがいる家庭：162世帯】

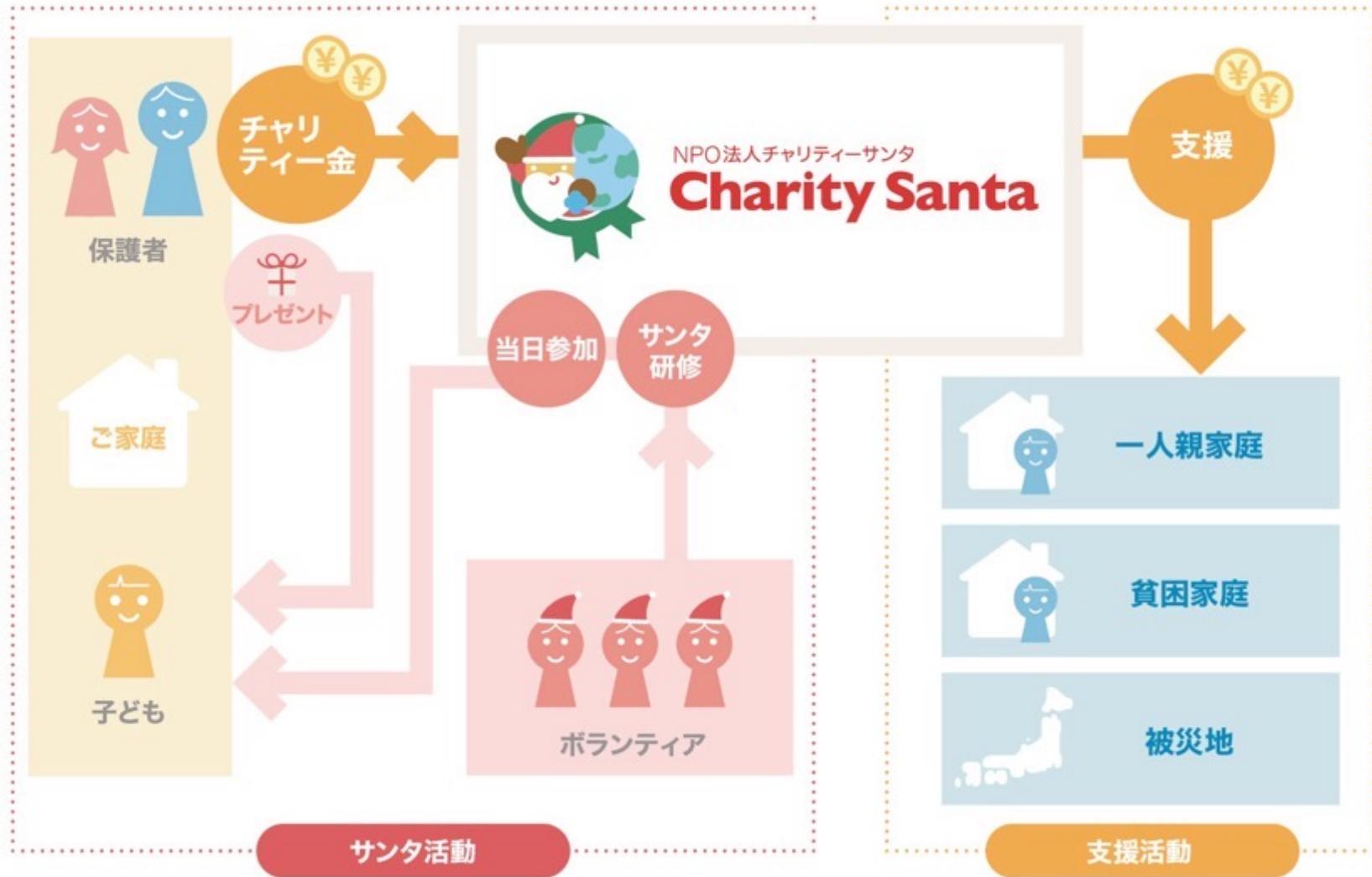
	就業の 支援、相 談	子育て 相談	子どもの 学習支 援	子どもの 体験(遊 び、運 動、習い 事など) 支援	食料や 生活品 などの 生活支 援	託児・一 時預かり	住居手 配、家賃 補助	仲間づく り	その他	特になし
	31	22	65	101	93	25	42	18	9	4
回答者 数にお ける選 択者の 割合	19.1%	13.6%	40.1%	62.3%	57.4%	15.4%	25.9%	11.1%	5.6%	2.5%

おかやま親子応援メール半年後アンケートから（2021年1月実施）

チャリティーサンタのミッション・ビジョン



想いやりがつながる仕組み





母子家庭の10家庭に1軒は 「うちにはサンタクロースは来ない」としている

あなたは、子どもに対して「うちにはサンタクロースは来ない（＝プレゼントがない）」としたことがありますか？という設問に対して「ある」と回答したのは9.7%であり、約1割の家庭が「うちにはサンタクロースは来ない」と子どもに伝えていることがわかった。

実際に「ある」とした方の理由は、以下のような回答であった。
「お金掛かるから」「余裕がない」「貧乏だから」「金銭的に難しかった」「プレゼントを用意する余裕がなかった」「仕事が死ぬほど忙しく、離婚調停もしていて、気付けばクリスマスが過ぎていた年があった」



10家庭に
1家庭で

うちには
サンタさんは
来ないよ



子どもたちの頑張ったこと・応援したいことを家庭に個別に事前にお尋ねしながら
オーダーメイドで家庭に訪問。



「君がいてくれて嬉しい」を意識した思い出や体験を！
(今年も絶賛準備中です！)

クリスマスから見えてきた誕生日の重要性



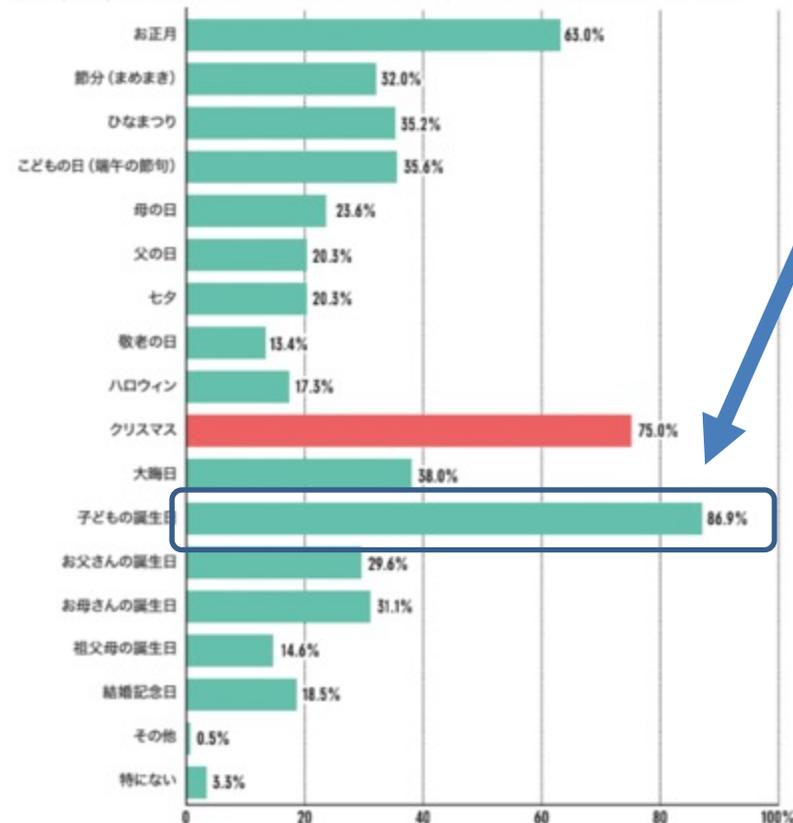
家族のイベントで大切なもの

1位は「子どもの誕生日」、2位「クリスマス」

家庭内の行事について、子どもの誕生日を大切にしている家庭が86.9%と最も多かった。

クリスマス大切にしている家庭は75%で次に多く、3位はお正月の63%だった。

親子(家族)のイベントとして大切にしているものはなんですか? 回答数 2062 ※複数回答



約2000人の子育て家庭への調査では
子どもの誕生日が一番大切だった。

ありがとうファームさんの誕生日カードと一緒に
お誕生日に絵本(児童書)を送る仕組みを
去年から実施



「3～12歳の子がいる家庭」という前提ではあるが、家族のイベントでは子どもの誕生日が1番大切にされている。親の誕生日よりもクリスマスが重要視される点について、小さな子どもがいる家庭は基本的に子どもがイベントの主役の「子ども第一主義」となっていることがうかがえる。



「娘の11才の誕生日です

でも、家に余裕がなくて誕生日プレゼントも、欲しいのを買ってあげられそうになく、

ケーキも、余裕がなくて去年も、誕生日のケーキが高くてコンビニのケーキで娘に我慢してもらったので今年は、ワンホールのケーキにロウソクを立てて吹き消してあげたいです。

どうか、どうかお願いします。娘も楽しみにしています」

「子供の誕生日があったけど、コロナ禍の経済的な理由で何も買ってあげられなかった。」

「仕事で親子活動の参観日や参観日に行けなかった。

去年のクリスマスプレゼントはトランプ

今年はどの子の誕生日プレゼントもケーキもプレゼントもなし。」

ポムさんとの出会い

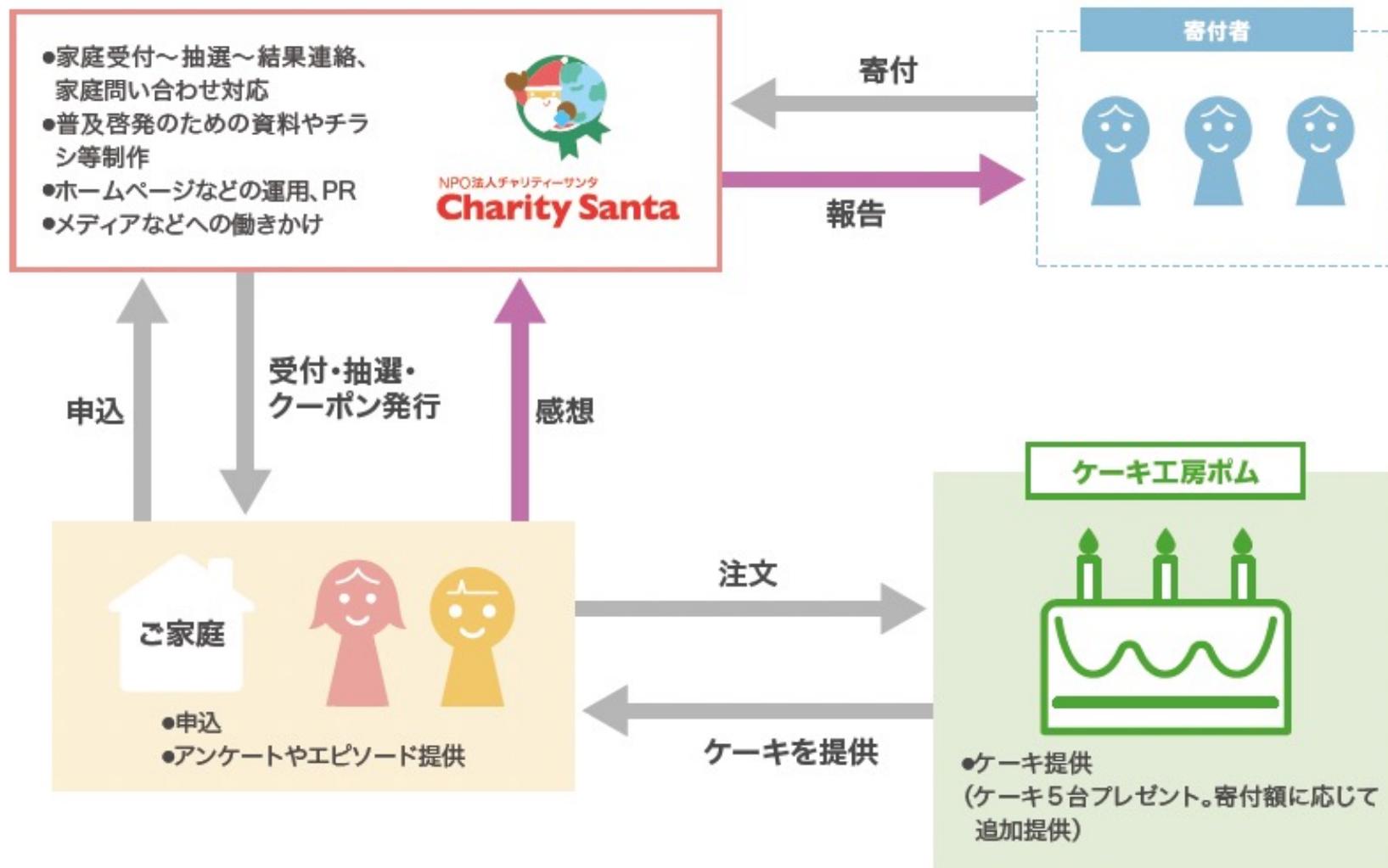


誕生日のニーズ
をなんとか
仕組み化してい
きたい



ケーキ屋として
できることを！

仕組み

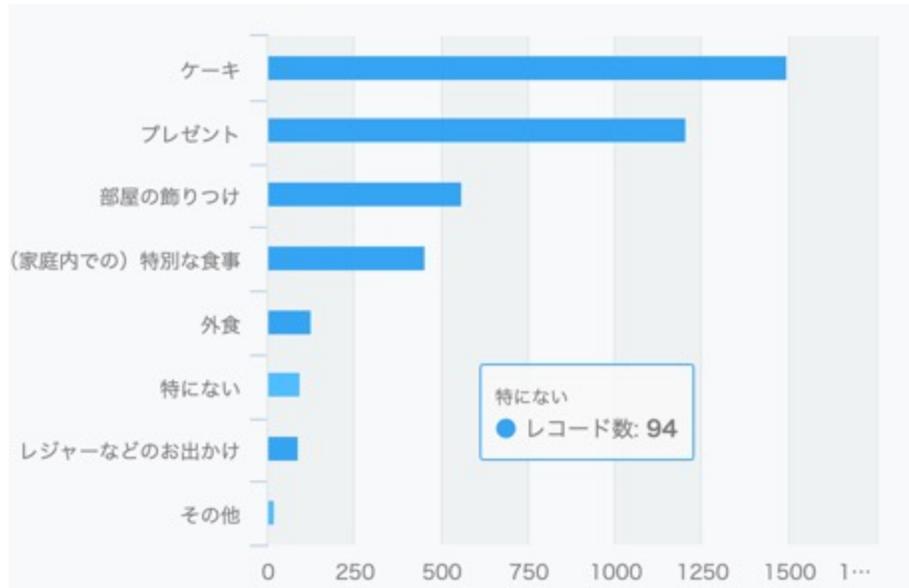


家庭からの声を聞いて

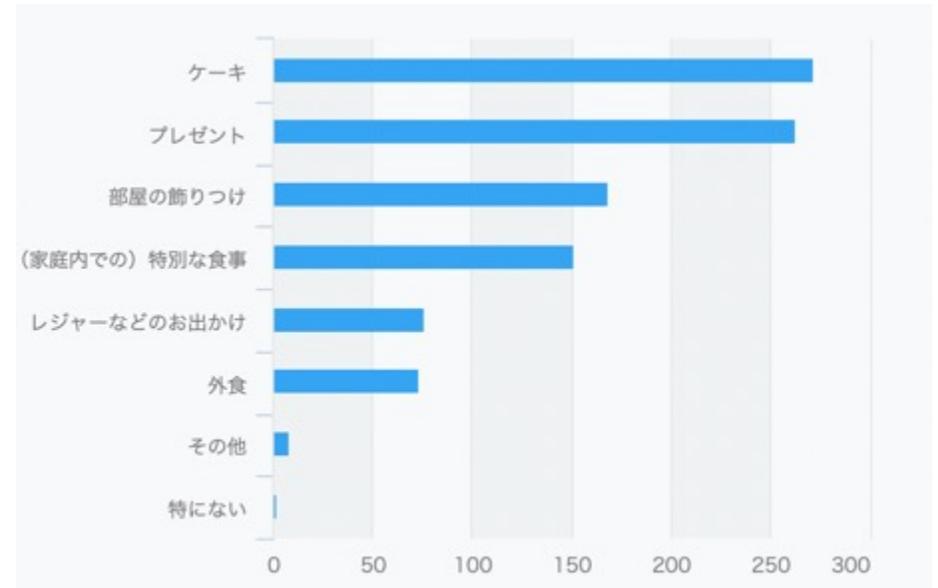


広げていくために調査も（現在、リアル集計中） ※未完成

全国困窮世帯 11月3日時点（1835世帯）



一般世帯 11月3日時点（283世帯）



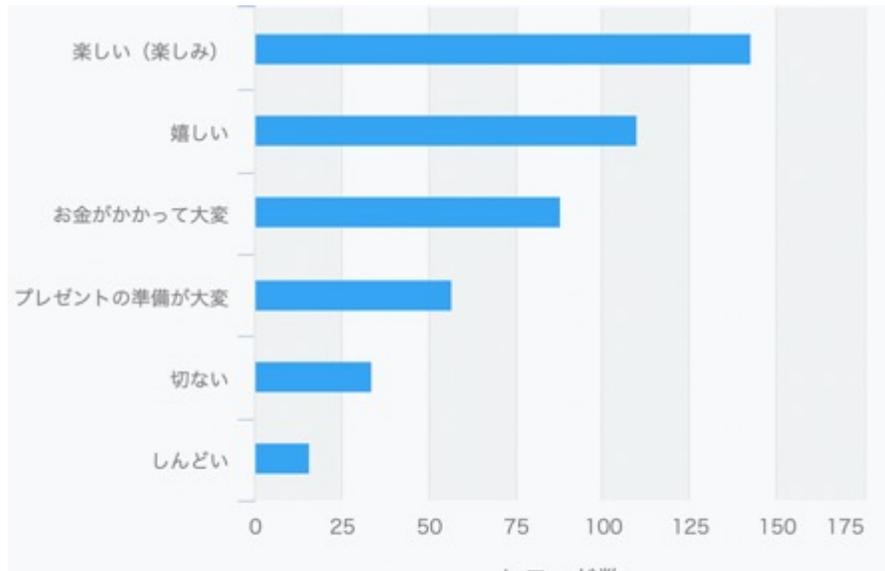
誕生日 = 「誕生日ケーキ」

ケーキの需要は「困窮世帯」も「一般世帯」も高い。

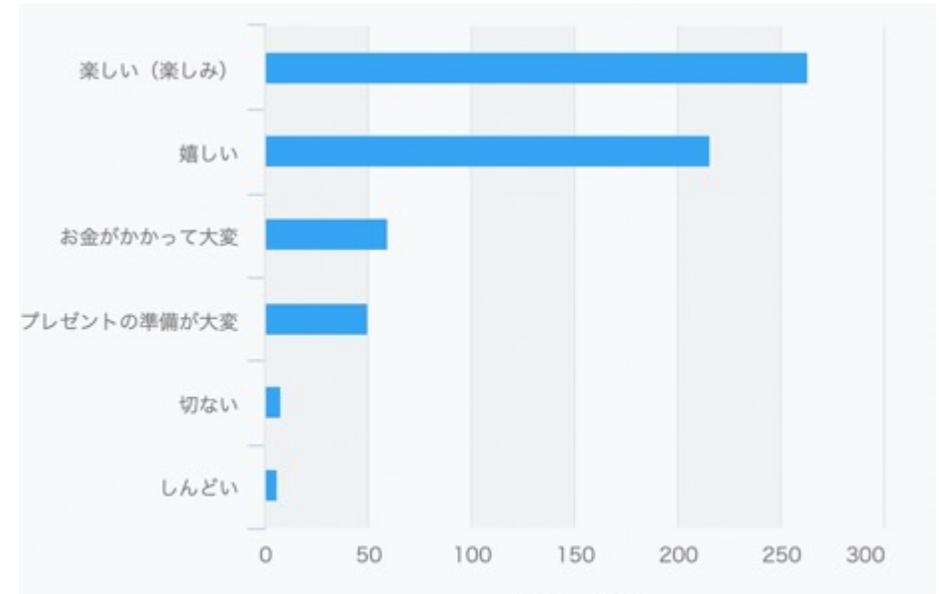
一般家庭は「ケーキ」もプレゼントも準備しているが、「プレゼント」の割合は困窮世帯になるほど低く、「特に何もしていない家庭」が現れる。（一般家庭の「特になし」は1歳家庭など）

広げていくために調査も（現在、リアル集計中）※未完成

岡山の困窮世帯 11月3日時点（210世帯）



一般世帯 11月3日時点（283世帯）



準備の中の気持ちは「切なさ」や「しんどさ」に大きく現れてくる
例え準備をしても歯を食いしばって準備をしている家庭も多い。



ひとりひとり、
パーソナルに働きかけるのは難しい。

けれど、「仕組み」があれば
それは絶対に叶う。

パートナーがいれば、連携があれば、
それは絶対にできる。



大町さん

「子どもたちに自ら会いに！」
子どもの楽しいや嬉しいを駄菓子で
引き出す。

来て下さる事を内緒にしていたので初めは次男は驚いていましたが、とても嬉しかったようです。帰られた後もずっと興奮した感じで「おじさんに会えてヤバイ！」「来てくれて嬉しかった！」「こんなに色々くれて優しいね」と、とても喜んでいました。このご時世で我慢さす事も多い中でとても良い思い出ができました。この度は本当にありがとうございました。





ありがとうファームさん

障がい者アートをつかったの
「あなたのための」を家庭で少しでも演出するための
地域の方からのプレゼント。

あたたかなメンバーの皆さんが子どもたちを
見守ることで、楽しいワークショップの場や
イベントの機会も。



メッセージカードが綺麗で、
本人が壁に貼ってました！

運営されている方みなさん、やさしかったのも
気持ちよかったです。



POLAさん



お母さんたちが「自分だけ・・・」と
引け目を感じないように子どもも
一緒に楽しめる企画に。

職業体験は
「自分も誰かを喜ばせることができるんだ！」
という実感を得る機会に。

マッサージを受けられて、気持ちもほぐれて、子
どものプチ体験もあり良かったです！



ジュエリー・タナカさん

お母さんたちのために頑張って工作する子どもたちは
とっても一生懸命で、誇らしげ！！！！
毎回、お渡し会はお母さんたちと一緒にスタッフもホロリ

帰宅して、いただいたネックレスをつけてみて、長い間
オシャレを忘れていたこともあり、心が弾みました！
子供たちも「かわいい！かわいい！」と
喜んでくれました。こんなに贅沢で温かな一日
は人生で初めてで、一生忘れることがないと思います。

子どもからのデコレーションしてくれた箱も本当に嬉し
かったです。子どもからのプレゼント、真珠
のネックレスを受け取った時の感動は一
生忘れません。





バナナリパブリックさん

「あなたに似合うね」を大切に！ いっぱい褒め合う喜びを。

いつもリサイクルショップやしまむらで子供の服を買ったりしている程度で自分の服なんて買う機会もないし何を買っていかわからず諦めていたのでこんなにお洋服で楽しめたのは人生初めてでとても嬉しかったです！ 娘達まで素敵な服をコーディネートさせてくださりありがとうございます。娘達もお気に入りすぎて今日も昨日の服が着たいと騒いでいます（笑）私もあんなに可愛いお洋服を着れたのは初めてで昨日は嬉しくて何度も鏡を見てしまいました。なによりもスタッフさんと店員さんの優しさにとっても感動した1日でした。



事例集もご覧ください* (ぜひ交流会で交流を!)



「貧困家庭の体験不足」という社会課題の解決に関心のある企業に対し、NPO（チャリティーサンタ）が家庭ニーズを踏まえて、積極関与を行うコーディネート業務や、受付や家庭対応などの運営補助を行っています。
企業などの支援側の課題としては「対象の家庭への声かけがわからない」（自社の強みを生かした支援を考えた時）ニーズに照らし合わせた企画の作り方がわからない」「通常業務もある中で、家庭対応などまでは行うことができない」というものがあり、そこを補助する形で運営を行なっています。
現在は事例をモデルとして紹介しながら、参画できる企業を増やすことを目指し働きかけています。

洋菓子店の事例

- 01 誕生日ケーキを困窮世帯に届けたいと考える。
- 02 自店舗でプレゼントのケーキ台数を決定、困窮世帯へ広報開始。
- 03 予想以上に希望が多く集まったが、全てに対応することは困難。また遠方への対応は受け取りの関係上、難しい。
- 04 寄付の集め方や、他のケーキ屋にも取組を拡大できるように現在検討中。



アパレル店の事例

- 01 「子どもの体験」として店舗内での「子どもの職業体験」を提案。
- 02 親子で楽しめる要素として職業体験中のお母さんのコーディネート企画もあがった。しかし、「店舗内で実施の際、一般客の目気になること」や「買うことができない親の気持ちなどを考え、企画を練り直す。
- 03 アンケートから「古着提供」のニーズなどを把握。
※「アパレル店員の古着」という付加価値をつけ、対象の親子をエンパワメントすることを意識した形で企画を再度検討。
- 04 実施後アンケートから、プログラムが好評であったことを把握。プログラムの継続・発展（他店舗への拡大）について社内でも検討中。

